

## 見どころその1 【猿投神社】



猿投神社は、砥鹿神社（豊川市）、知立神社（知立市）に次ぐ”三河国の三宮”で、第13代仲哀天皇元年、勅願により現在地に創祀されました。

猿投山の東峯に東宮、西峯に西宮を祀り、本社、東宮、西宮を総称して猿投三社大明神と呼び、古くより崇敬を集めてきました。

猿投神社の主祭神は、  
大碓命（おおすのみこと）。

大碓命は、古墳時代の皇族の一人で、小碓命（おうすのみこと=日本武尊）の双子の兄にあたります。大碓命はこの地の開拓に尽くしていましたが、猿投山で毒ヘビのために亡くなったとされています。西宮の後に墓所もあります。

また、猿投神社では古くから左鎌を奉納して祈願する風習があります。御祭神・大碓命が左利きであったことから、左鎌を用いて開拓されたことを慕ったことが起こりではないかと言われています。

左鎌



## 見どころその2 【棒の手会館】



今回駐車場ならびに発着場所としてご協力いただいている 豊田市棒の手会館は、県指定無形民俗文化財である棒の手の資料を一同に集め、展示・収蔵・研究のための設備を備えた本格的資料館です。



### 棒の手とは？

この地方に古くから伝わる郷土芸能で、県の無形民俗文化財にも指定されています。猿投まつりをはじめとした、豊田市内の各地のまつりやイベントにて披露されています。

お時間が許せば、ぜひ帰りをご覧ください。

### 見どころその3

## 【巨木・巨石・巨岩】

猿投山は山岳信仰の地として有名ですが、登山道を歩いていると、時々巨木や巨石・巨岩が現れます。これらは何百年(何万年)存在していること自体が崇拜の対象となっているようで、石には言い伝えがあったり、巨木の根元に賽銭が置かれていたりするようです。

#### 《菊石》

黒雲母花崗岩の結晶が球状で菊の花の花卉のように見えることから、この名があるのです。「猿投山の球状花崗岩」の名称で、国の天然記念物になっています。



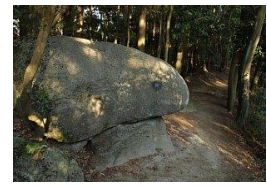
#### 御船石

花崗岩で出来ており、「祭神である大碓命が乗ってきた船が、石になった」という言い伝えがあります。



#### カエル石

「古代の磐座(神社の本殿)」と言われている



## 猿投鎮守の森の主たち紹介

#### お倉岩



#### 井戸杉



#### 屏風岩

四角に切り落とされた岩が屏風のように重なっている事から、そう呼ばれる